

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワークステーション夢んぼ		
○保護者評価実施期間	令和7年6月30日		～ 令和7年6月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 32人
○従業員評価実施期間	令和7年6月1日		～ 令和7年6月30日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年8月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就労に向けた訓練や、トレーニングなどを行い「働くこと」へのイメージを高める活動を取り入れています。	就労に対するプログラムを導入編から実施編へと繋がるように考えています。取組後はフィードバックを行い次回の取組みに繋げています。	学童、中高生など年齢や段階に応じた細やかな内容のプログラムに努めています。
2	子どもたち同士で意見を出し合い、自分たちで考えて企画や準備をするなど達成感を感じられる活動を取り入れています。	子どもたちが主体となって取り組めるよう、意見が出しやすく行動できる雰囲気作りに努めています。	意見の出し方、話し合いや折り合いのつけ方など必要に応じて助言やアドバイスも行いながら、コミュニケーションに関する力も身に付けていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	プログラムによって利用される人数の少ない日があります。	プログラムの内容や子どもたちの様子を伝えたり発信したりする機会が少ないと考えられます。	Instagramなどを通じて活動や子どもたちの様子を積極的に紹介していきます。
2	保護者の方との連携がうまくできない時があります。	定期的な面談以外で保護者の方と話す機会が少なく、ご本人とのやりとりが中心になっています。	送迎時や電話などで保護者の方とお話しをする機会を作っていくことで、連携を深めていきます。